

# 県学給だより

## 岡山県学校給食会会報

**OGK** 子どもたちに笑顔  
いっぱいの給食時  
間をお届けします

第173号  
平成23年11月7日  
編集発行  
財団法人岡山県学校給食会  
岡山市南区浦安中町59番地の4  
TEL 086-263-6465(代)  
URL: <http://www.ogk.or.jp/>

### 岡山県学校給食百周年

### 記念式典を挙行

平成二十三年十一月六日  
(日) 小田郡矢掛町の「やかげ文化センター」において、岡山県学校給食百周年記念式典を挙行了たしました。  
当日は、一般県民、学校給食関係者ら三五〇名が参加し、盛大に記念式典が挙行できました。



古矢副知事祝辞

竹井教育長挨拶



菊田あやこさんの講演

会場には、年表パネル・年代別の献立レプリカ・児童の絵画等を掲示しました。

また、グルメリポーターの菊田あやこさんをお招きし、「世界に誇る日本の給食 ～そして未来の給食について～」と題しての特別講演会を開催しました。



年表パネル



児童の絵画

### ～岡山県学校給食100周年によせて～



「学校給食一〇〇年を記念して」

岡山県教育委員会教育長

竹井 千庫

明治四十四年に岡山県小田郡小田村(現在の矢掛町)の小田小学校において昼食にふかし芋が出されて以来百年にわたり、学校給食は子どもたちの大好きな時間の一つとして親しまれてきました。当初、学校給食は栄養の摂取を主なねらいとして行われてきましたが、平成二十一年の学校給食法の大幅な改正により、食育の推進を図ることが加わり、学校教育における重要な教育活動として位置づけられています。これもひとえに、学校給食関係者の時代に即した献身的な御努力の賜物であり、百年という輝かしい歴史を作り上げてこられました皆様方に心から敬意を表する次第であります。

現在、本県ではほとんどの小・中学校等で学校給食が行われており、約十六万人の児童生徒が、毎日安全で安心な学校給食を食べています。平成十八年度からは、食育を推進する観点から教育活動の一環としての学校給食をより効果的に実施するために、栄養教諭制度が設けられ、現在四十一人が配置されております。栄養教諭・学校栄養職員の皆様には、子どもたちの望ましい食習慣の育成や食中毒の防止といった衛生管理に日々、御尽力をいただいております。

こうしたことから、毎日朝食を食べる児童生徒の割合や学校給食への地場産物の活用率は、増加しており、皆様方の御尽力に心から敬意を表するところであります。

また、平成二十二年から、岡山県学校給食会が中心となつて、岡山県産米の米粉を使用した米粉パンが学校給食に導入されました。このことは、子どもたちが、郷土岡山への愛着を深めるとともに、生産者への感謝の気持ちを育む指導に役立っております。

子どもたちが、望ましい食生活を送るためには、家庭や地域の協力が不可欠であり、学校給食の充実、食育の推進のため、関係者の皆様のさらなる御協力をお願いするとともに、岡山県学校給食会におかれましては、今後一層の御協力を賜りますようお願いいたします。ごあいさついたします。





# 「矢掛町から始まった 学校給食が百周年を迎えて」 矢掛町教育委員会教育長 武 泰稔

このたび、矢掛町の地で岡山県学校給食百周年記念式典が開催され、大変ありがたく感謝申し上げます。

明治四十四年に小田郡小田村（現在の矢掛町小田）の小田小学校において、貧困児を対象に学令児童保護会が昼飯として「ふかし芋」を出したのが岡山県の学校給食の始まりと記録されています。その後、学校給食は子供たちの栄養の摂取はもとより健全な心身の育成に大きく貢献してきました。

進に努めています。また、地元農家のご協力をいただき作り手の顔が見える農産品を使用した季節感のある旬のメニューや伝統的な行事食を提供し、児童生徒が食に興味や関心が持てるように工夫しています。

更に、学校給食共同調理場や矢掛町健康管理センターを窓口として、多様なネットワークと学校ボランティアなど多くの方々のご協力をいただき、町を上げて児童生徒の実践的な食育の力をつける活動をしています。

百年を経過した現在では、矢掛町すべての小・中学校で学校給食が行われ、矢掛町学校給食共同調理場から栄養管理された安全で安心な給食が提供されています。

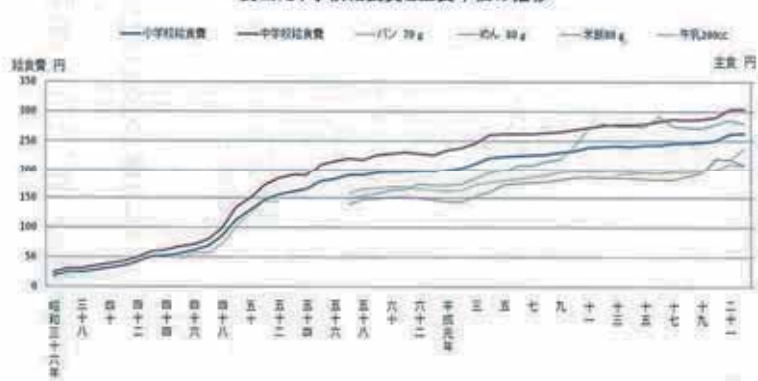
本町では「矢掛町食育推進計画」を策定し、「楽しく食べる」「感謝して食べる」「よく考えて食べる」「残さず食べる」をキーワードにして学校給食を中心とした食育の推

この記念式典を機に先人が築いた心温まる教育文化を継承しながら地域の方々や関係各位のご協力をいただき、更なる食育を推進したいと考え、今後の学校給食の一層の発展のために岡山県をはじめ給食・食育関係者の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 岡山県学校給食百年史

昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	大正	明治	年号	
49年	46年	39年	33年	32年	29年	26年	24年	22年	22年	22年	18年	7年	文部省調査	44年	年	
10月	6月	10月	10月	10月	6月	2月	10月	11月	4月	1月	4月	12月	大正11年3月17日		月	
九名措置） 学校栄養職員が制度切り替えにより県費負担職員となる（一五	学校給食用牛乳を生乳に全面移行	国庫補助による最初の共同調理場建設（井原市・上道町）	「学習指導要領」が改訂され、学校給食がはじめて学校行事等の領域に位置づけられる	財団法人岡山県学校給食会設立	学校給食が教育活動の一環として実施されることを明確にした	学校給食法制定	学校給食法施行令、施行規則、実施基準等も定められ、学校給食の実施体制が法的に整う	旧市（岡山・倉敷・児島・津山・玉野）四十四校で完全給食を開始	岡山県学校給食事業部が県学事課に設けられた	鹿田小（岡山市）、天城小（倉敷市）、瀬崎小（児島郡）が岡山県ユニセフ給食校に指定	学校栄養士五名、岡山市に配置	連合軍放出物資による学校給食が岡山、津山、倉敷市の三十三校（二月から玉野市）で開始	岡山市全校児童対象に週一回のパン給食実施	川上郡松岡尋常高等小学校 貧困児救済目的に給食実施 川上郡増原尋常小学校 栄養増進目的に給食実施 赤磐郡経部尋常高等小学校 貧困児救済目的に給食実施	小田郡小田村学令児童保護会で給食実施	主な学校給食のできごと

### 一食当たり学校給食費と主食単価の推移



児島郡瀬崎小学校のユニセフ給食 昭和24年





# 「岡山県学校給食百周年記念」 によせて

## 岡山県学校栄養士会長

吉田 礼子

明治四十四年に小田郡の小  
学校で給食が開始され、今年、  
岡山県の学校給食が百周年の  
節目を迎えることができました  
たことを心からお祝い申しあ  
げます。

この長い歴史の中で起こつ  
たであろう様々な出来事に思  
いをめぐらす時、深い感慨を  
覚えます。小田村学齢児童保  
護会による「貧困児を対象に  
作ったふかしいも」で始まっ  
た学校給食ですが、その使命  
はいつの世も子どもたちの生  
涯にわたる健康と幸せを願う  
ことに変わりありません。

けれども、子どもや学校給  
食を取り巻く社会背景もずい  
ぶん変化してきました。その  
ような中、学校給食法及び学  
習指導要領が改正され、「食  
育」の文字の明記と共に、学  
校給食を「生きた教材」とし  
て生かすよう地場産物を積極  
的に活用することや、子ども  
たちの望ましい食習慣の形成  
を重視した指導など、学校教  
育の推進をすることが求め  
られてきました。

「栄養教諭制度の創設」に  
つきましては、本県において  
も平成十七年に、先輩諸氏と  
もども二十数年もの長い間待  
ち望んでいたことが現実のも  
のとなり、学校における食育  
推進は、栄養教諭・学校栄養  
職員を中核とした体制づくり  
が望まれているところです。

学校給食を担当する私たち  
は、子どもたちの望ましい食  
習慣の形成や食に関する理解  
を促進するため、学校給食の  
一層の普及充実や家庭や地域  
との連携を進めるよう努力す  
る所存です。

今後とも、ご指導ご助言を  
よろしくお願い申し上げます。

昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和			
51年	54年	55年	55年	63年	66年	66年	66年	10年	8年	6年	6年	2年	元年	63年	55年	55年	54年	51年			
4月	11月	4月	4月	1月	8月～10月	4月	4月	1月	1月	8月～10月	4月	4月	1月	1月	4月	4月	11月	4月			
政府米による米飯学校給食導入	米、輸入牛肉が文部大臣指定物資となる	岡山市で米飯給食開始	(県内全市町村で米飯給食導入完了)	米飯・めんの供給、原材料供給から製品供給に変更	調理場のドライ化始まる(五十五年・西備養護学校、五十六年・寄島町)	おかあさんと学校栄養職員による学校給食自慢料理大会を開始(平成七年度まで開催)	親と子のふるさと料理教室を開始(対象十市町村)	「小学校学習指導要領」、「中学校学習指導要領」が改正され、学校給食は、特別活動の中の「学級活動」に位置づけられる	うどんの原料を強力粉から中力粉に変更	平成五年産米、異例の作柄不良により、緊急措置として学校給食に自主流通米を供給	異常濁水により高梁川下流十一市町村で学校給食を中止、弁当持参や簡易給食等の措置が取られる	病原性大腸菌O-157による食中毒発生	学校給食用米を政府米から自主流通米に変更	うどん用小麦粉を国産小麦粉に切替え	最初の栄養教諭三名任用(岡山市・倉敷市・鏡野町)	岡山県食育推進計画策定	津山市中学校給食開始	学校給食法改正	米粉パン「岡山っ子こめこパン」供給開始	新学習指導要領小学校で全面実施	岡山県学校給食百周年記念事業開催





### 学校給食教室 (親子・世代交流) 開催

十一月五日(土)岡山県学校給食百周年記念事業の関連事業として、学校給食教室を開催いたしました。

矢掛町立小田小学校に於いて、親子対象の教室を、また、矢掛町健康管理センターに於いて、世代交流の教室を行いました。



親子料理教室



世代交流料理教室



調理の前に、矢掛町学校給食共同調理場の畦崎栄養教諭から、「矢掛町の学校給食がめざすところ」と題してお話があり、その後、調理を行いました。

当日は、矢掛町の食材を使用した、「大名寿司 牛乳 いしもちじゃこのからあげ ばち汁 新高なし」の献立を調理し、試食しました。

おいしいね!!



みんなで、いただきます



当日の献立

参加者からは、「すこく楽しかったです。」「今度、うちのにも、教えてあげたいです。とてもおいしかったです。」「また、作ってみたいです。親子で協力して、調理できてとてもよかったです。」「昔を思い出し、懐かしさいっぱいになりました。」「少し味がうすいように感じましたが、子どもには、これくらいが丁度いいのでしょうかね。」などの感想がありました。

世代交流の教室の参加者は、学校給食の移り変わりに驚かれ、現在の充実した内容に感心されていました。

### 矢掛町の取り組み

矢掛町は岡山県の西南部に位置し、西に井原市、南に笠岡市・浅口市、東に倉敷市・総社市とそれぞれ接して、高梁川の支流小田川の流域に開けた参勤交代の宿場町として

栄え、現在も本陣脇本陣が旧姿をとどめる文化と田園の町です。恵まれた自然環境の中で「やさしさにあふれ かいできで げんきなまち」をテーマに、町民一人一人が豊かな人間性のなかで充実した人生を過ごすことをめざしています。

近年、食生活をめぐっては、栄養の偏りや不規則な食事など関連する肥満や生活習慣病の増加・子どもの孤食・朝食の欠食、思春期の過度の痩身、食の乱れによる心身のトラブルが課題になっています。

このような状況のなかで、矢掛町では「矢掛町食育推進計画」を策定し、あらゆる世代にわたり健全な食生活に必要な知識や判断力を習得し、実行できるよう支援しています。

特に小・中学校や高校の児童生徒が興味関心を持ち、より実践的な力を身につけるために、学校給食調理場や矢掛町健康管理センターを窓口として、多様なネットワークと学校ボランティアとの連携により体験活動を多く取り入れた食育の取り組みを進めています。